

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(三協電気工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			長野県への申請時に於いては障がい者雇用の申請をさせていただいております。また、性別・出身などの差別防止への人権教育の取り組みと継続的な実施を行っております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント防止規定を労働基準監督署に令和2年8月20日に第1回目申請済み。令和4年6月6日改定。令和5年2月2日改定に伴う補足申請済み。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			最新の更新にて(毎年12月申請)36協定の締結を労働基準監督署に令和7年12月1日に申請し、時間外労働及び休日労働を1ヶ月45時間、1年360時間以内にて過度な長時間労働にならぬよう防止に取り組んでいます。								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在外国人の労働者はありません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			「建設業における安全衛生年間計画書」を令和8年4月21日に労働基準監督署に申請済み。「安全への意識向上」「健康の確保」「リスクアセスメント等の実施」等々取り組んでいます。			3				8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			令和8年3月9日「健康経営優良法人プライト500」を取得したこともあり、会社は社員の更なる健康維持に取り組んでおり、アンケート・ストレスチェック等の結果から改善すべき点に対処をしています。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			高齢者職員・また既に労働者である障がい者職員が怪我などの無いように安心して働ける環境を整備しています。 (階段の手摺取付、人感センサーライト等)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			OJTを活用した人材育成をし、目標・課題を明確に社員が自身の開発に自発的に考える環境を図っています。また、必要な取得すべき資格及び教育に関しては、会社援助による取得に取り組んでいます。				4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働基準監督署に届出し、同一労働同一賃金の原則を遵守しています。						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	基本			令和8年3月9日「健康経営優良法人プライト500」を取得した傍ら、これからも要検査・要診療を優先し、社員の健康を第一に取り組んでいきます。また活動量計を全員に配布し、専門機関にフォローアップをしてもらっています。			3					8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物は適正に分別し、適切な廃棄、管理、報告を行い、「信州プラスチックスマート運動協力事業者」として廃棄物の削減にも取り組んでいます。										11.6	12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			「エコオフィス松本」マスター認定事業所(3つ星)として、会社エマネージ(エネルギーの見える化)の導入、またアスゼロ(CO2の見える化)ソフト使用により、エネルギー使用量を把握し削減に努めています。また、「松本市ゼロカーボンコンソーシアム」の企業会員としても参加し将来へのより良い環境に向け取り組んでいます。							7.3					13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			「エコ通勤優良事業所」(交通エコロジーモビリティ財団)として、可能な限りエコ通勤に努め、また、2026年7月22日付にて長野県に事業活動温暖化対策計画書を提出しCO2排出の抑制に取り組んでいます。							7.2 7.3					12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			化学物質類を管理して物質の在庫量を把握し、適正使用及び適正管理を実施しています。			3.9			6.3					11.6	12.4						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			自然環境を守るため、自社の土地に井戸を掘削し、ビオトープを作り、ホタル、カニ、メダカ等の自然の生き物が生息できる環境を整備し、定期的な清掃を行いながら、生物を保護しています。						6.6							15				
6	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			各工事現場においても会社同様にごみの分別を正確に行い、再生可能なペットボトル・古紙・電池類等のリサイクルに努め、マイバック持参の啓発など「信州プラスチックスマート運動協力事業者」としてプラスチックの削減に日々取り組んでいます。									12.5		14.1						
7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	基本			㈱日本トリムの電解水素水整水器と他社のサンゴミネラル水器を設置し社員の健康飲料として役立てています。また、昨年自社土地を公園とし、そこに災害用の井戸を掘り、社員や地域の方々には飲料水等として幅広く使用してもらっています。						6.4 6.6											
8 環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレ ンジ		【予定】	【予定】エコアクション21の取得を目指して取り組み中です。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	基本			常にホームページやメディア関係など外部への発信をしつつ、松本市災害時サポート事業所〔東部地区R04-001号〕として自社土地を公園にし、井戸水利用を含め、地域の皆様へ広く提供している。										12.6							
10	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	基本			自社の屋上の太陽光パネルの設置をはじめとして、県内各所に合計9ヶ所の太陽光発電所を設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいます。また、社屋壁面に専用太陽光パネルを取付け、再生可能エネルギーの拡大を図っています。							7.2				13						
11	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	基本			環境に意識を高め、グリーン商品・再生紙を優先して使用しています。											12.2	13	14	15			
12	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			定期的な教育を実施し、「腐敗行為禁止基本方針」を定め、腐敗行為防止に関する社内研修を実施しています。															16 16.5		
13	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を禁止するマニュアルを社員に配布し、定期的な教育を実施しています。															16		
14 公 正 な 事 業 慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産権の保護・活用を明示し、社員の特許等の知的財産権の取得を奨励しています。								8.2 8.3	9								
15	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護規定を整備し、個人情報の保護に関する法律等の関係法令等を遵守し、取り扱う個人情報の適切な保護と利用に努めています。															16		
16	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレ ンジ	【非該当】		取り扱いありません。															16		
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレ ンジ		【予定】	「生物多様性や生態系への悪影響の防止」については、現在事業パートナー等と取り組んでいる。他に關しても今後の取り組みとして、協力会社との認識の共有に努めていく。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
18	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	チャレ ンジ		【予定】	【予定】今後の取り組みとして、構築宣言の作成及び公表を予定しています。			3				8	9	10							17	
19 製 品 ・ サ ー ビ ス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			安全性の確保にあたり、各種メーカー製品の工場検査、若しくは自社が直接工場検査に立ち合いつつ情報を入手し、社内安全基準を遵守して品質管理の徹底を行っています。			3.9								12.4						

		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本				新製品等のチェックを頻繁に行い、評価をし、お客さまの不利益にならないJIS規格及びエコ製品の提供に努めつつ、顧客先への価格面、利便性、将来性等幅広くコンサルさせていただいています。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ				太陽光発電システム、LED照明器具、エコキュート、最新の高効率エアコンなど、エコに対応した設備を推進し、環境に配慮した会社設備環境を整えています。						6					12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				民間向けにEV電源ステーションを作り、カーシェアリングを整えて、外部に提供しています。また、松くい虫の被害によって、やむを得ず伐採してしまったアカマツの再利用を考え、協力業者とギター・スピーカーなどの製品展開に取り組み、メディアやホームページを通じ外部へも発信しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本				地域社会の皆さまからの信頼に支えられていることを意識し、環境を守るコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めることに努めています。									9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ				地域の清掃活動や環境保全活動として、老人福祉施設の清掃・点検ボランティア活動、また「SBCこども未来プロジェクト」「松本映画祭プロジェクト」「松本市少年野球連盟」など次世代を担う子ども達の活動プロジェクトへの寄付活動を行います。「松本市ネイチャリングフェスタ」への寄付と参加活動も行っています。また松本市内「はぐルッポ」の職員・子供・関係者の入退室を管理するプログラム導入と設置に協力し、「松本市芥子坊主山市民の森整備」の協賛や「松本地域森林業振興会」への緑の募金協力をしています。					4								14	15		17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ				エネルギーの自給率を向上し温室効果ガスの削減を図るため、再生可能エネルギーを積極的に推進しています。									8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本				経営理念、経営ビジョンを明示し、社員が閲覧できるように社内の掲載、各職場での掲示など、経営者により、適宜会議等を通じて理念を共有しています。									8	9							17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本				法令等遵守規程を整備し、職員が法令等を遵守するとともに、法令等に違反する行為を黙認することなく直ちに是正し、企業倫理の確立を図ることとしています。																16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本				代表を主軸として総務部を社会・環境に対応する部署とし、省エネ基準達成のものを中心に使用するよう外部へ提案しています。																16		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本				社員の終身雇用制度などを念頭に、ステークホルダーの中で社員を重視し、高齢者が安心して生活できる仕組みに努めています。																16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ				リスク管理規程その他必要な社内規程を定め、業務執行に係るリスクの把握と管理を行う管理部署を定め、適切な対応を図っております。																16		
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ				地球環境にやさしい社会の実現を目指し、太陽光発電事業の推進や活動による環境負荷の低減に取り組んでいます。																16		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ				令和4年11月22日、経済産業省より「事業継続力強化計画」に係る認定を受けました。全社員が所持しているスマートフォンに専用アプリの安否確認システムを導入し、社員の状態把握に取り組んでいます。また、松本市災害時サポート事業所として活躍しており、現在は国土交通省の事業継続力評価を得るための取り組みも進めています。（BCP）										9		11		13 13.1		16		
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ				女性・高齢者・障がい者が働きやすく、それぞれの能力を伸ばし、活躍できる環境を確立していくことを重点とし、すべての人材が活躍できるように、職場及び、教育環境作りに積極的に取り組み、「職場いきいきアドバンスカンパニー登録事業所」になる等様々な事業承継のための組閣を構築済みです。									8	9							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
健康経営優良法人の取り組み		令和8年3月9日「健康経営優良法人ブライト500」の継続取得に伴い、社員へのより一層の健康を守るAEDを会社に設置し、また地域の皆様にも貢献しつつ、いざという時の協力を担っていきたく考えております。																	
次世代育成支援の取り組み		悩みを抱えている子どもたちの相談スペース「はぐルッポ」の子どもたちに寄り添い、次代を担う子どもたちが安心して育つ環境づくりに積極的に協力して取り組んでいます。また松本市デジタルシティ松本推進企業としても認定をいただき、先出の子どもたちの施設に關しての入退室を管理するプログラムシステムを導入し、弊社で更新の協力をさせていただいています。また一般事業主行動計画を令和7年2月10日継続策定届出し、内容に基づく取り組みをし、令和7年8月13日には厚生労働省へ女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画も申請し取り組んでいます。																	
防災に対する取り組み		令和4年5月13日、松本市危機管理課の「松本市災害時サポート事業所」に登録し、松本警察署への照会を経て、会社および地域の方々への協力を進めています。防災活動にも積極的に参加し、備えの意識を高めるため、社員はもちろん地域の方々にも防災ハンドブックを無料で配布し、活用や防災指導に役立ててもらい、緊急時に備える意識の向上を図っています。また、消防団協力事業所として松本市に登録し、市への協力も行っています。令和7年10月より自社土地を公園として開放し、災害用井戸（飲料可）を掘り、また防災倉庫を設置し、「社員そして地域を守る！」として経営者は動いています。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定